



平成 25 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 新 京 成 電 鉄 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 笠 井 孝 悦
(コード番号 9014 東証第 1 部)
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 課 長 原 一 彰
(TEL 047-389-9912)

新京成電鉄中期経営計画（2013 年度～2015 年度）の策定について

当社では、2013 年度（平成 25 年度）～2015 年度（平成 27 年度）の 3 ヶ年を計画期間とする中期経営計画（S2 計画）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

《策定にあたって》

当社グループでは 2010 年度～2021 年度の長期経営計画、そしてその第 1 ステップとなる 2010 年度～2012 年度の中期経営計画（S1 計画）を推進し、経営基盤の強化に取り組んでまいりましたが、東日本大震災の発生による経営環境の悪化を受け、鉄道・バスの輸送人員に大きな影響が及ぶなど厳しい状況となりました。しかし、より一層の経費削減に取り組みました結果、営業利益は目標として掲げた水準を達成することが出来ました。

長期経営計画の第 2 ステップとなる 2013 年度からの中期経営計画（S2 計画）は、「地域と会社のブランド力向上」「信頼性・快適性の向上」「成長できる業務体質への転換」「人材力・組織力向上」の 4 つの戦略を柱とし、中長期的な視点に基づき堅実な事業運営を推進しながら、経営環境の変化や新たな課題に適切に対応する将来に向けた 3 ヶ年と致します。

S2 計画期間においては、鉄道部門では安全・安定輸送を維持し信頼性・快適性を向上させる設備投資を重点的に推進する、不動産賃貸部門では収益基盤強化に資する新規賃貸物件の開発・将来計画の具体化に向けた検討を推進するなど、戦略に基づいた諸計画の着実な推進を通じて経営基盤の更なる強化に努めますほか、新京成沿線地域と企業の価値向上につながる施策を実施してまいります。

新京成電鉄中期経営計画（S2計画）の概要

1. 計画期間

2013年度から2015年度

2. 4つの戦略

- ◆ 地域と会社のブランド力向上
- ◆ 信頼性・快適性の向上
- ◆ 成長できる業務体質への転換
- ◆ 人材力・組織力向上

3. 数値計画

2015年度の到達水準（連結）

項目\年度	2012年度 (実績)	2015年度 (S2計画)
営業収益	194億円	196億円以上
営業利益 (営業利益率)	30億円 (15.6%)	28億円以上 (14.5%以上)

※2013年度以降、ATS装置更新など大規模投資を計画し、減価償却費増を見込むことから2015年度の営業利益は2012年度を下回る計画となる。

4. セグメント別重点施策

(1) 運輸業

- ・沿線価値向上、事業運営の低コスト化により永続的に利益を確保する体制を構築
- ・沿線の活性化と沿線自治体等との連携強化による旅客誘致
- ・保安度向上を目的としたATS装置の更新
- ・大規模災害等へ備えた鉄道施設の改修
- ・ソフト、ハード両面の更なるサービス向上により変化するお客様のニーズに応える
- ・連続立体交差事業（鎌ヶ谷大仏～くぬぎ山）の早期完成
- ・バス事業における路線の効率化や新規路線展開により収益力を強化

(2) 不動産業

- ・新規賃貸物件の開発による収益力強化
- ・新津田沼地区再開発計画の具体化（2016年度以降着工に向けて）
- ・保有資産の有効活用による新規事業検討

以上